

## (1) プロファイルの変更

IRIS for Health のインストールにより FHIR R4 リポジトリに対して検証が行えます。 FHIR R4 リソースの指定以外に、施設独自の検証や、退院時サマリーFHIR 化のための検証を追加したい場合、プロファイルを修正できます。

退院時サマリーFHIR 化のドキュメント

(<a href="https://std.jpfhir.jp/stddoc/eDischargeSummaryFHIR v1x.pdf">https://std.jpfhir.jp/stddoc/eDischargeSummaryFHIR v1x.pdf</a>) P169~170 には、Patient リソースの名前用エレメント:name.text の指定に「姓と名の間には原則として全角空白を 1 個挿入する。」とあります。

通常の FHIR R4 Patient リソースの name.text は <u>string</u>が指定されていて、正規表現として [ ¥r¥n¥t¥S]+が指定されています。この正規表現では、全角スペースに対応できないため、正規表現: [¥r¥n¥t¥s¥S]+ に変更を加えます。

今回は string の正規表現を修正したい為、デフォルトの IRIS インストール時に用意されるプロファイルを直接修正します。

これを行うためには、一旦プロファイルのアンインストールと、正規表現を変更した json ファイルを含むプロファイルを再度インポートする必要があります。

最初に、string の正規表現を変更します。

IRIS for Health インストールディレクトリ\u00a4dev\u00e4fhir\u00a4fhir\u00a4mhir-metadata\u00a4packages\u00a4hl7.fhir.r4.core 以下に、プロファイル用ファイル一式があります。

上記ディレクトリの中の「StructureDefinition-string.json」のみを修正します。

予め演習用に修正済ファイルがありますので、以下フォルダからコピーし、貼り付けてください。

サンプルの StructureDefinition-string.json をコピーし

IRIS for Health インストールディレクトリ\(\frac{1}{2}\) dev\(\frac{1}{2}\) fhir-metadata\(\frac{1}{2}\) packages\(\frac{1}{2}\) hlr.r4.core 以下に貼り付けます。

次は、管理ポータルを使用して、プロファイルの削除とインポートを行います。





図例は TRAINING ネームスペースを利用しています。 ご利用環境のネームスペースに接続した状態で実施してください。

## 管理ポータル > Health >ネームスペースを選択 > FHIR Configuration

> Package Configuration に移動します。

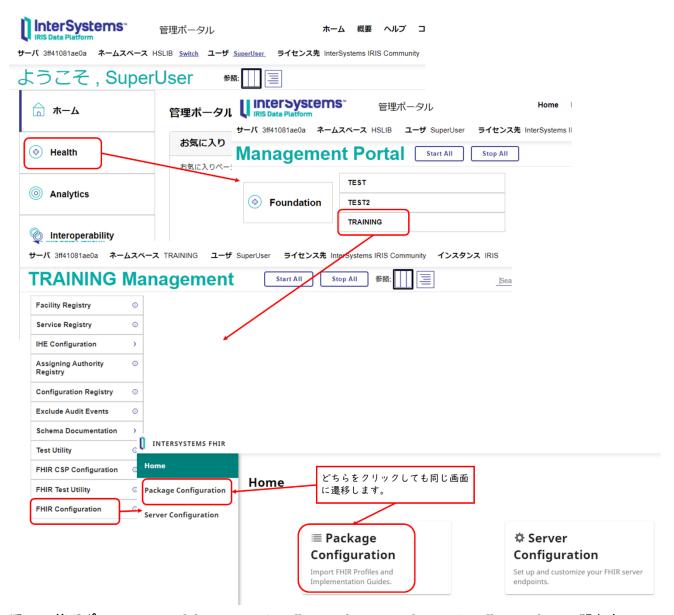


図 1 管理ポータル: Health: FHIR Configuration: Package Configuration の開き方





現在のプロファイルを削除します。削除対象は、hI7.fhir.r4.core 4.0.1 ですが、依存関係として hl7.fhir.us.core 3.1.0 があるため、最初に、hl7.fhir.uys.core 3.1.0 パッケージをアンインストー ルします。(インストールディレクトリ以下に両パッケージの素となった json ファイルがありますの で、いつでも復旧できます)

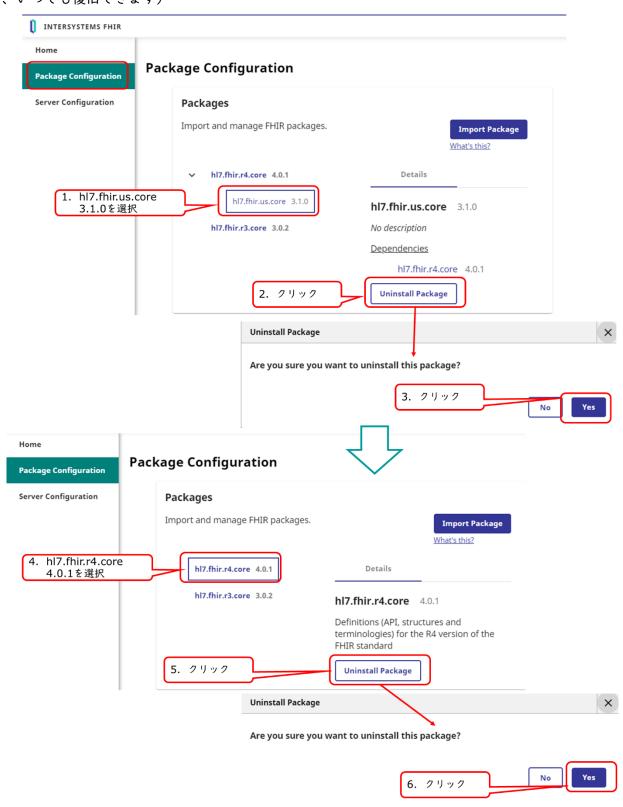


図 2 プロファイルの削除



続いて、string の正規表現を修正したファイルを含む置き換えた hl7.fhir.r4.core 4.0.1 をインポートします。(同じ画面を使用します)

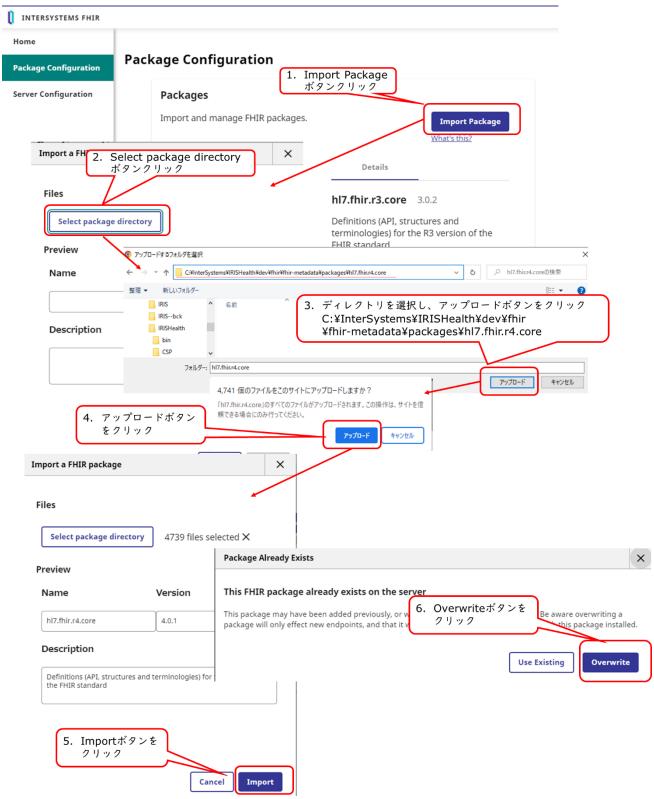


図 3 プロファイルのインポート

以上でプロファイルの置き換えは完了です。